

既販ディーゼルエンジンの水素エンジン化に向けた実機評価に成果

株式会社リケン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：前川泰則、以下「当社」）は、既報の通り、2021年10月1日に新設した水素・新エネ事業準備室（2022年4月1日に水素・新エネ事業推進室に改称）にて、水素エンジン向けの部品開発、水素エンジン評価解析設備の導入、水素エンジンを核とした各種の水素関連事業の検討を通じた水素関連事業への参入を企図し、本年5月より当社柏崎事業所におきまして、水素エンジンの実機評価をスタートしております。

当社では、水素エンジン専用仕様に変更した最新のエンジン実機評価設備を活用し、市販車の低公害車への改造を業とする企業および大学などとの協力のもと、既存ディーゼルエンジンの水素エンジン化改造を実現するための水素エンジン実機評価を続けております。今般、水素エンジン特有の異常燃焼を抑制しつつ、ベースエンジンに迫る出力を得ることに成功し、今年度後半には実車テストを前提とした耐久試験を実施する予定としております。

これまでのところ、新しいエンジン実機評価設備では水素エンジンの実機評価のみ実施しておりますが、今後は水素に加えて、バイオ燃料などの代替燃料をはじめ新エネルギー関連の実機評価にも積極的に進出し、自動車の脱炭素化に貢献してまいります。

以上

【本件のお問い合わせ先】

株式会社 リケン 経営企画部、水素・新エネ事業推進室 （03-3230-3911）